

7-1 松代における地殻変動観測（2017年5月～10月）

Observation of crustal deformation at Matsushiro (May – October 2017)

気象庁
Japan Meteorological Agency

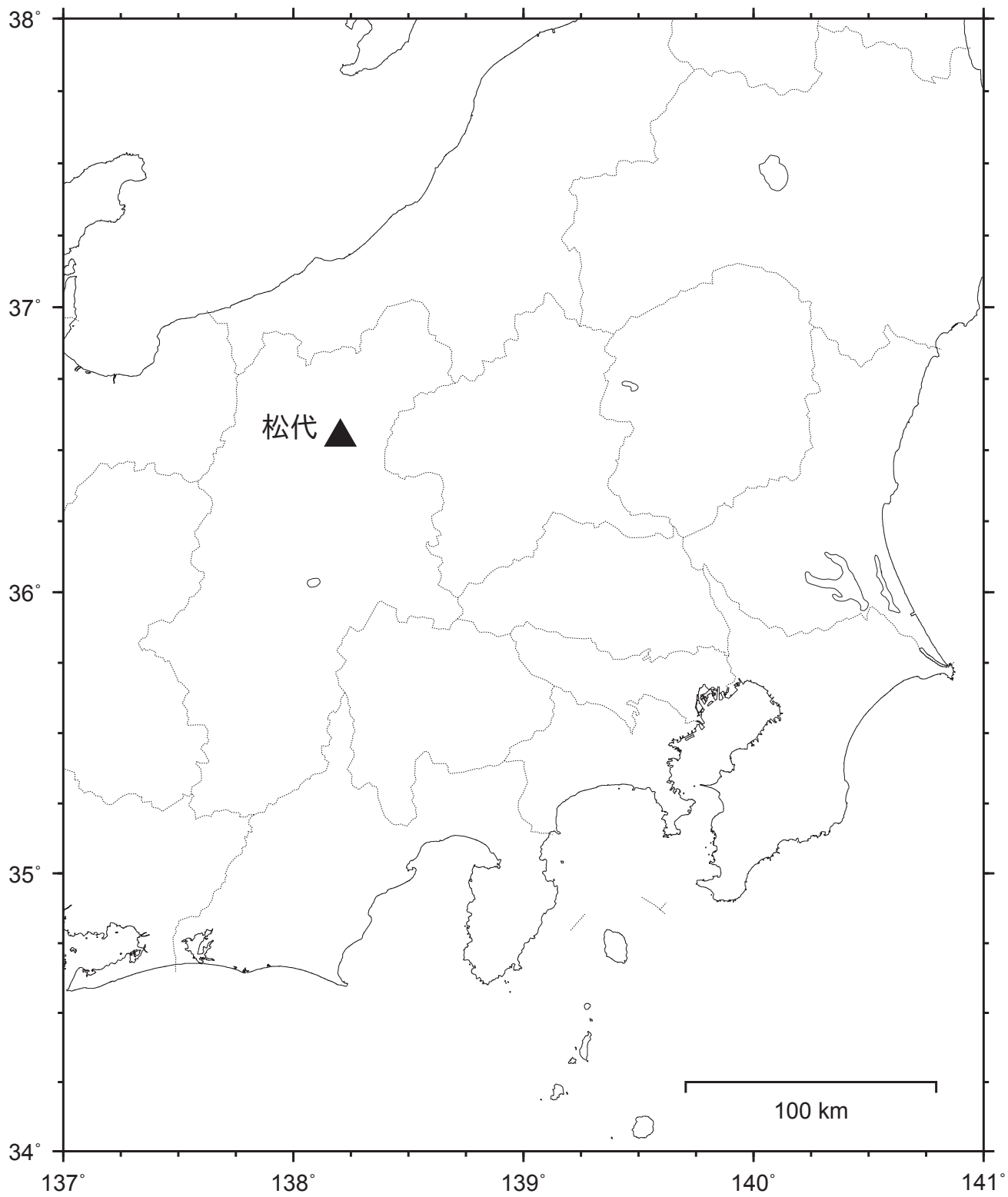
気象庁は、日本国内の特定の地域における地殻活動の状況及び傾向の調査を主な目的として、長野県長野市松代で石英管式ひずみ計による地殻変動の観測を実施している¹⁾²⁾（第1図）。

第2図に2017年5月から10月までの観測結果を示す。降水による影響と見られる変化以外に、ひずみ計に特段の変化は見られなかった。なお、9月20日以降、障害のため欠測中である。

第3図に2007年以後の観測結果を示す。

参 考 文 献

- 1) 山岸要吉・泉末雄・相原奎二：松代における地殻変動の連続観測結果について，*験震時報*，**41**，13-20（1971）。
- 2) 浜田信生・柏原静雄：松代における地殻変動観測に関する諸問題について，*験震時報*，**45**，49-83（1981）。



第1図 松代の位置.

Fig. 1 Location of Matsushiro.

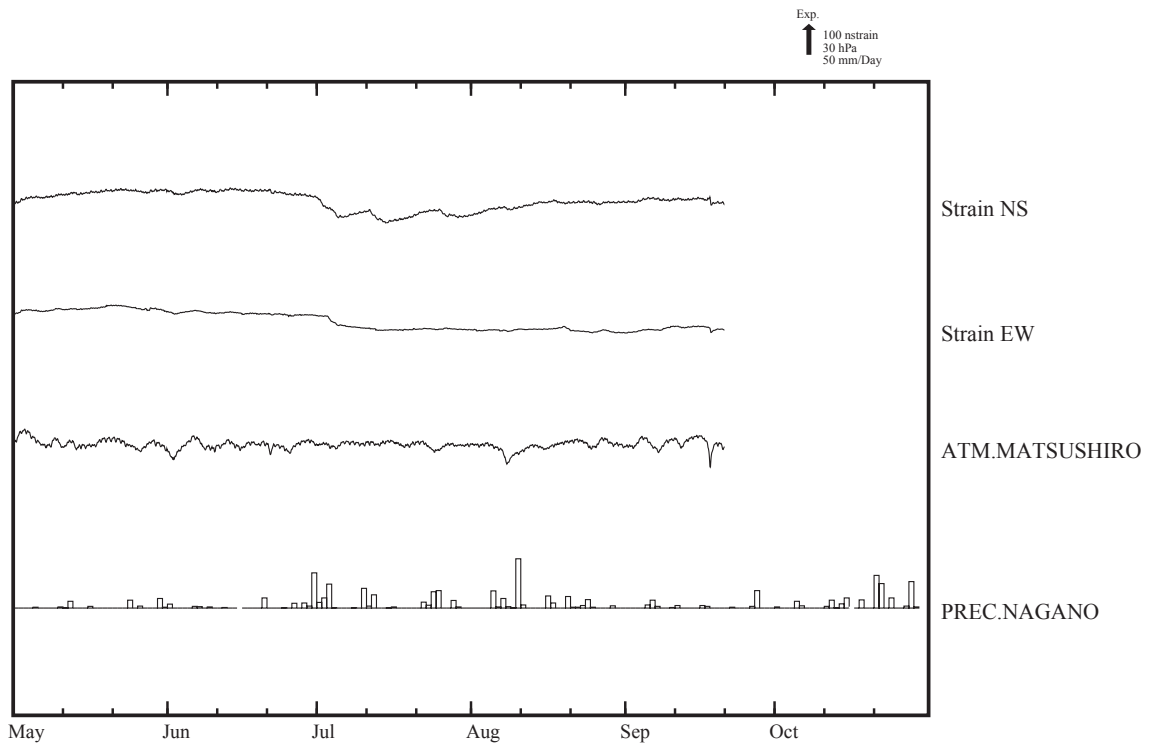


Fig.2 Hourly mean records measured by quartz-tube strainmeters at Matsushiro

第2図 石英管式ひずみ計の時間平均値（潮汐補正した値），気圧，日降水量（2017年5月～10月）.
 Fig. 2 Hourly mean records measured by quartz-tube strainmeters, barometric pressure and daily precipitation from May to October 2017 (tidal effects are corrected).

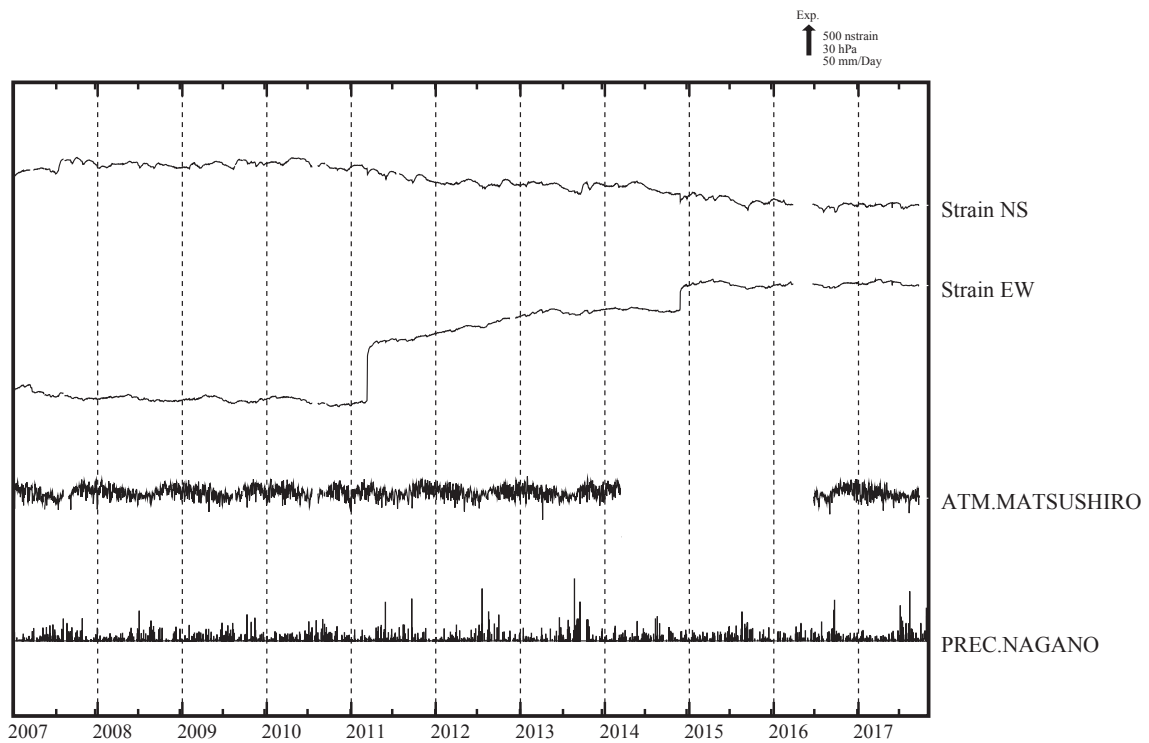


Fig.3 Daily mean records by quartz-tube strainmeters at Matsushiro

第3図 2007年1月以後の石英管式ひずみ計（日平均値），気圧（日平均値），日降水量の変化.
 Fig. 3 Daily mean records measured by quartz-tube strainmeters, with barometric pressure and daily precipitation since January 2007.